2022年度　日本工学院専門学校

ＡＩシステム科

校外研修３

対象	２年次	開講期	前期	区分	選択	種別	実習	時間数	30	単位	1
担当教員	岩堀　信一			実務経験	有	職種	システムエンジニア／プロジェクトマネージャ				

担当教員紹介

担当教員は、主に金融分野・公共分野におけるシステム開発にシステムエンジニア・プロジェクトマネージャとして従事。提案、要件定義、開発、テスト、運用のシステムライフサイクル全般に渡る実務経験有り。米国PMI認定PMP、AWS認定ソリューションアーキテクト-アソシエイト、日本ディープラーニング協会Ｇ検定等の資格を有する。

授業概要

校外で実施されるITの展示会や講演会に参加し、最先端のIT企業ではどういったサービスや製品を提供しているかを知り、自身の進路に
フィードバックをする。また、展示会・講習会前には出展ブースや講演会の内容を調べ、疑問点などを資料にまとめることで効果的な研修とする。展示会・講習会後には自身が学んだ知識をまとめ、他人の前で発表することで情報の適切な伝え方についても学ぶ。

到達目標

イベント参加前に、ブースの出展情報や説明を聞いてまわる順番、説明資料の疑問点について十分な検討を行い、資料化することができる。また、イベント参加時には企業様の説明をメモを取りながら聞き、疑問点に関しては相手に伝わるように質問することができる。また、これから社会人になる立場として適切な立居振舞ができる。
　最後に、イベント参加後にはイベントで得た情報を資料にまとめ、他人に説明することができる。

授業方法

IT業界は日々成長を繰り返しており、入学時に最新技術であったものが、卒業時点では陳腐化していることも起こる。そのため、自身の就きたい仕事について常にアップデートしながら必要となる追加技術を調べ、目標に向かって努力をしていく必要がある。
　IT関連の展示会や講習会に参加して最先端のIT企業が提供しているサービスや製品について知り、自身の目標を更新していく。また、就職時に必要となるコミュニケーション能力についても企業様への質問を通して学んでいく。

成績評価方法

レポート　50%　授業内容の理解度を確認するために実施する
成果発表　50%　授業時間内に行われる発表方法、内容について評価する
（口頭・実技）

履修上の注意

研修をより有意義なものとするため、積極的な参加姿勢(質問など)を重要視している。また、社会への移行を前提とした受講マナーで参加し、展示会・講習会中の私語や受講態度などには厳しく対応する。（詳しくは初回のガイダンスで説明する。）理由のない遅刻や欠席は認めない。また、授業時数の４分の３以上出席しない者は定期試験を受講することができない。

教科書教材

資料を配布する

回数	授業計画
第1回	展示会や講演会のテーマにそった事前知識を調査し、情報を整理することができる
第2回	事前調査によって整理した情報を他者と共有するために説明、発表することができる
第3回	展示会・講演会に参加し、見識を深め、テーマについて深層まで探究することができる
第4回	展示会・講演会の内容を振り返り、新たな知識を定着させることができる
第5回	結果報告、自ら調査した事柄を他者と共有するために、情報を整理して説明することができる